コミセン便の導入計画検討について

1. 検討の流れ

平成28年度からの実証運行開始を目指し、今年度導入計画及び運行計画を作成予定。

第1回地域公共交通会議(5月29日(金)開催)

第2回地域公共交通会議【今回(8月6日(木))】

第3回地域公共交通会議

第4回地域公共交通会議



運行事業者の選定・契約(平成28年度)

実証運行開始(平成28年度内を予定)

2. コミセン便の導入検討の背景

コンパクトで平坦な播磨町の特性から、自動車や自転車中心の交通体系が中心であったが、高齢社会の進展等に対応した、持続可能な交通体系を形成することが求められており、今後さらに公共交通の役割が重要。

3. 播磨町内の移動に関わる課題

- 高齢者や子育て世代、移動手段を持たない人を中心に、公共交通の利便性向上に対するニーズが存在。
- コミセンやスポーツ施設を含めた公共施設や交通結節点などの拠点への アクセス向上。
- 公共交通間の乗り継ぎ利便性など、交通結節機能の向上。
- 自動車、自転車が主な交通手段である播磨町における、高齢者等が安全 に移動できる環境の確保とこれを通じた外出機会の拡大。
- 鉄道駅と町内各地を結ぶ路線バスが運行しているが、道路幅員が狭小な地域では乗り入れが困難であり、路線バス運行地域は限定。

● アンケートの自由意見に見る子育て世代・高齢者等の外出支援サービスに対するニーズ(カッコ内は年代)

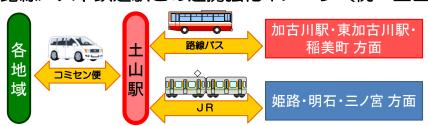
- 播磨町は元気なお年寄りが多いと思います(いきいきセンターの利用者で年配の方多いと見受けます)。せっかく健康に配慮した施設が多いのにそれらの施設を結ぶ路線があれば利用しやすいのにと思います。同様に子育て支援センターとそれらの施設を結べば子育て世代のお母さんたちも外出しやすくなると思います。自転車でも行けないことはないですが雨の日はちょっとね・・・となってしまうので。(25~34歳)
- せっかく町内に2本の鉄道が通っているので、これら2駅と町内各所を結ぶ公共交通網(コミバス、乗合タクシーなど)の整備が町内の目指す方向ではないかと思います。 (55~64歳)
- バスの路線が家の近くにないので路線を増やしてほしい(明幹沿い)。播磨町内の施設をまわるループバスがあれば利用しやすいかも (大中遺跡、整備中のJR土山駅商業施設、プール跡地、南・北支援センター、図書館(役場)など)。(25~34歳)

4. 取り組むべき施策の方向性

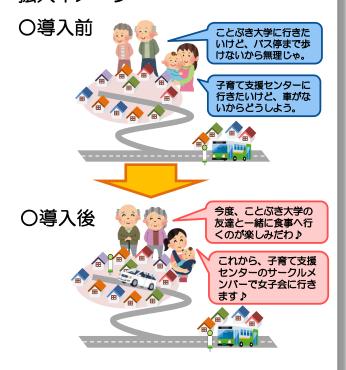
町内各地域から公共施設や鉄道駅等の拠点へのアクセス向上に取り組み、 公共交通の利便性の向上を図る。

5. コミセン便の基本方針

- 高齢者・子育て世代の移動ニーズに合ったモビリティの確保
 - ⇒ 路線バスで対応できない地域からコミュニティセンター、子育て支援センターや 鉄道駅等への移動ニーズへの対応。
 - ⇒ 高齢者・子育て世代をはじめとした町民の 外出機会の拡大。
- 交通不便地域の解消
 - ⇒ 交通不便地域を解消するとともに、地域間 における移動手段の確保・円滑化を図り、 町民生活を活性化。
- 路線バスや鉄道駅との連携強化
 - ⇒ 路線バスと競合しないネットワークを形成。
 - ⇒ 路線バスや鉄道駅との接続及び連携。
 - 路線バスや鉄道駅との連携強化イメージ(例:土山駅)



■ コミセン便の導入による外出機会の 拡大イメージ



6. 運行車両の規模

コミセン便は、目的施設と道路幅員が狭小で路線バスが乗り入れ 困難な地域を結ぶものとするため、10人乗りの車両を想定。

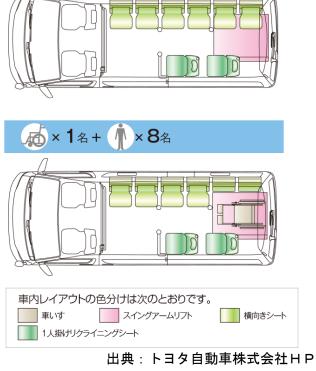
移動制約者の外出機会の拡大を図るため、車いす利用者も同乗で きる車両を想定。

■コミセン便の運行車両イメージ







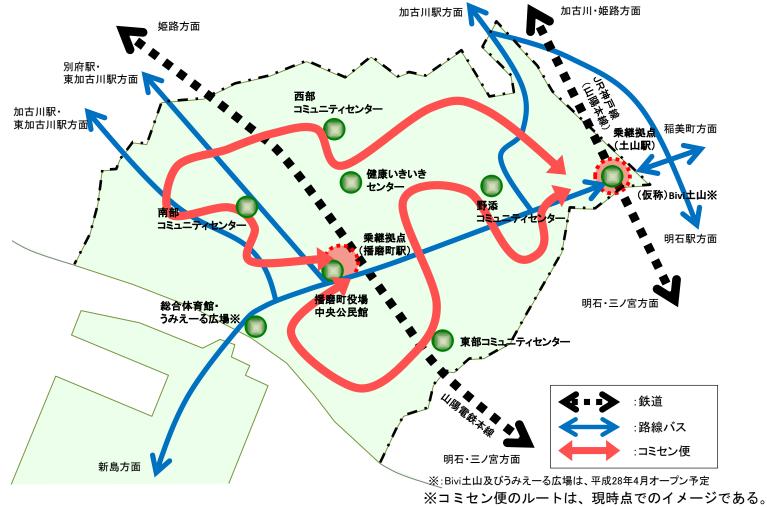


/ × 10名

7. 公共交通システムの考え方

● コミセン便の基本方針を踏まえ、播磨町の公共交通システムの整備イ メージを以下に示す。

■播磨町の公共交通システムイメージの概念図



今後検討を進め、関係機関との調整等により、決定する。

8. 導入スケジュール

- コミセン便の導入にかかるスケジュールを以下に示す。
 - ■コミセン便導入検討スケジュール

実証運行開始(平成28年度内を予定)

